

熊野川減災協議会 次期取組項目【R3~R7】(案)の一覧表

資料2-4

【取組機関・オブザーバー】

●:取組対象(主体) ○:取組対象(支援・協力) -:取組対象外  
※取組対象(主体)は、取組の実施・検討に努める機関であり必ずしも必須ではない

【種別】

・基礎継続:これまでに実施してきた取組の継続・更新  
・応用:これまでに実施してきた取組を応用させた取組で、具体的な取組内容が概ね定まっており、目標期間内に適宜進めていく取組  
・発展:これまでに実施してきた取組を発展させた取組で、具体的な取組内容は未定であり、検討、調整を経て、進めていく取組

取組項目	取組機関										オブザーバー			種別	目標時期	取組事例・取組イメージ
	和歌山県	新宮市	田辺市	北山村	三重県	紀宝町	熊野市	気象台	近畿地整	電源開発	関西電力	JR西日本				
<b>柱①:水害リスク情報等の更なる充実と自主防災意識の向上による安全な住民避難等の実践</b>																
1	洪水時の河川管理者と関係市町村との連携の検証と改善	●	●	●	-	●	●	○	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼洪水時のホットライン等による連携会議の検証と改善	
2	タイムラインの検証と改善及び各機関のタイムラインの共有	●	●	●	●	●	●	-	●	-	-	-	応用	継続的に実施	▼関係機関のタイムラインの共有・検証・改善、▼多機関連携型タイムラインの検討	
3	大規模水害に対する広域的な避難対策の検証	○	●	●	●	-	-	●	-	○	-	-	応用	継続的に実施	▼水害リスク、感染拡大防止等を踏まえた広域避難の必要性検討、▼広域避難計画の立案	
4	水害リスク情報の充実(水害リスク空白域の解消、内外水一体・多段階型浸水想定等)・周知	●	●	-	-	●	-	-	●	-	-	-	応用	継続的に実施	▼内外水一体、多段階型の浸水想定区域図作成、▼水害リスク情報の空白域の解消	
5	水害リスク情報を活用した水害ハザードマップの作成(更新)・周知	○	●	●	●	○	●	-	○	-	-	-	応用	継続的に実施	▼No4の情報を活用した水害ハザードマップの作成、▼Web版ハザードマップの展開	
6	不動産関連業者に対し、水害リスク情報の更なる充実と情報提供	●	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼不動産業者へのNo4の情報も含めた水害リスクの情報提供	
7	防災意識の向上に資する出前講座や水災害教育等の推進	●	●	●	●	○	●	○	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼出前講座・防災授業等の実施	
8	平時からの適切な避難行動に資する取組の推進	●	●	●	●	-	●	-	○	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼避難訓練・防災訓練、▼避難対策ワークショップ、▼まるまち、▼避難誘導表示版設置、等	
9	要配慮者利用施設における避難確保計画の作成促進や避難の実効性確保に資する取組の推進	○	●	●	-	○	●	-	○	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼要配慮者利用施設管理者への説明会、▼要配慮者利用施設での避難確保計画の作成、▼避難訓練の実施	
10	共助に関する取組事例の共有、取組強化	-	●	●	●	-	●	●	-	○	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼自主防災活動の手引き作成、▼自主防災組織が行う訓練等の支援	
11	コミュニティタイムラインやマイ・タイムラインの普及・促進	●	●	●	●	●	●	○	●	-	-	-	応用	継続的に実施	▼紀宝町地区タイムラインの展開、▼マイ・タイムラインの作成支援	
12	SNS等を活用したリスクコミュニケーションの検討	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	発展	継続的に実施	▼SNS等を活用した即時性の高い情報発信・共有・活用方策の検討	
13	感染症拡大防止等を考慮した避難施設(民間施設等を活用した緊急的な避難先を含む)の充実	○	●	●	●	○	●	●	-	○	-	-	応用	継続的に実施	▼避難所・避難路の整備、▼高台整備、▼避難所内の設備充実	
14	感染症拡大防止を考慮した防災行動計画や避難計画等の更新と訓練の実施	○	●	●	●	○	●	●	-	○	-	-	応用	継続的に実施	▼避難計画、タイムラインの更新、▼感染症拡大に配慮した避難所訓練の実施	
<b>柱②:情報の一元化や情報発信の見える化等による情報伝達体制の高度化・効率化</b>																
15	ICT等を活用した効果的な情報提供の継続・推進	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼緊急速報メール等のプッシュ型での情報提供、▼SNS等での情報提供	
16	避難行動、水防活動に繋がる観測施設(水位計、雨量計、河川監視用カメラ)等の整備・配信	●	●	●	●	●	●	-	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼危機管理型水位計・簡易型河川監視カメラ等の整備・配信、▼避難目安水位ラインの整備・周知	
17	各管理者の情報を効果的に配信できる仕組みの必要性の確認と構築	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	○	応用	継続的に実施	▼関係機関の減災に資する平時からの取組、洪水時の対応状況、水防資機材の状況等の情報を共有する必要性や仕組みの確認・構築	
18	雨量・水位・ダム放流情報等の一元化の検討	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-	応用	継続的に実施	▼熊野川流域での雨量・水位・ダム放流等の一元化、▼各情報の効率的・実用的な活用方法の検討	
19	ダム放流による水位変動見込み等の情報提供の検討	●	-	-	-	●	-	-	●	○	○	-	応用	継続的に実施	▼ダム放流見込みによる下流区間水位の影響検討、▼今後のダム放流見込みの共有方法の調整・検討	
20	洪水予測の周知・活用と予測技術の向上(水位予測、氾濫予測、長時間予測等)	●	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-	応用	継続的に実施	▼幅を持った水位予測、▼予測の長時間化、▼リアルタイム氾濫予測、▼ダム運用、避難、水防等での活用検討	
21	鉄道事業者との連携による社会経済被害最小化に繋げる検討及び実践	-	○	-	-	-	○	-	-	●	-	-	○	応用	継続的に実施	▼洪水予測の鉄道事業者への提供、▼鉄道事業者の防災行動計画作成支援
22	メディアとの連携による避難に資する河川情報提供の検討及び実践	●	●	●	●	●	●	●	●	○	○	-	応用	継続的に実施	▼メディアとの連携による切迫した河川情報の配信、呼びかけの工夫、▼『和歌山県域メディア協議会(仮称)』での取組検討・実践	
23	リスク情報や治水事業効果の見える化	●	●	●	●	●	●	○	●	-	-	-	発展	継続的に実施	▼ハザードマップの3次元化、▼VR技術の活用	
<b>柱③:地域との連携強化による迅速かつ効果的な水防活動の実践</b>																
24	消防団等への連絡体制の定期的な確認と伝達訓練の実施	-	●	●	●	-	●	●	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼消防団との情報伝達訓練、▼消防団の連絡体制の確認・強化	
25	必要な水防資機材の配備	●	●	●	●	●	●	-	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼必要な水防資機材の確認・検討・補充	
26	関係機関と連携した実働水防演習の実施・継続	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼地域(行政、消防団等)での水防演習の実施、▼流域での多機関連携による水防演習の実施	
27	消防団等の避難場所の確保	-	●	-	-	-	●	●	-	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼水防活動、避難経路等を踏まえた避難場所の検討、確保	
28	水防協力団体の募集・指定を促進	-	●	●	●	-	●	●	-	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼消防団の募集促進、▼ホームページ、広報誌への掲載	
29	消防団や地域住民が参加した重要水防箇所及び水防資材の共同点検等の実施	-	●	●	●	-	●	●	-	●	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼関係者による重要水防箇所や水防資機材等の現地確認、▼重要水防箇所の更新・周知	
30	庁舎、災害拠点病院等に関する水害リスク情報の共有	●	●	●	●	-	●	-	-	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼No4の情報も含めた情報共有、▼管理者への水災害リスク情報の説明	
31	大規模水災害発生時の庁舎等の機能維持及び重要資機材への影響の確認と有効な対策の実施	-	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	応用	継続的に実施	▼施設の建て替え、▼防災拠点施設の整備	
<b>柱④:氾濫をできるだけ防ぐ・減らすための対策の推進</b>																
32	河道掘削・低水護岸整備・堤防整備等の継続	●	-	●	-	●	-	-	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼熊野川(直轄区間)河道掘削、▼築堤・護岸整備、▼沿川道路・背後地嵩上げ	
33	粘り強い堤防整備等の危機管理型ハード対策の検討・実施	-	-	-	-	●	-	-	●	-	-	-	発展	継続的に実施	▼越水時に決壊しにくい堤防構造の検討・実施	
34	市田川流域大規模浸水対策など内水対策(ハード対策)の実施	○	●	-	-	-	●	-	-	○	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼雨水排水ポンプの整備、▼都市下水道整備の検討・実施	
35	砂防事業の継続	●	-	-	-	●	-	-	-	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼砂防堰堤の整備、▼砂防施設の維持管理	
36	利水ダム事前放流の実施や流域での雨水貯留機能の向上	○	●	●	●	○	●	●	-	○	○	-	応用	継続的に実施	▼ダム管理者と連携した利水ダム事前放流の運用、▼雨水貯留浸透施設整備の検討・実施	
37	水防拠点・河川防災ステーションの検討・調整及び整備の実施	-	-	-	-	-	-	-	●	-	-	-	応用	継続的に実施	▼河川防災ステーション整備の検討・調整・実施	
38	水防資機材の搬入路の検討及び整備の実施	●	●	●	●	●	●	●	-	●	-	-	応用	継続的に実施	▼搬入路の検討、▼搬入路の拡幅・補強・新設等	
<b>柱⑤:生活再建、社会氾濫を一刻も早く回復させるための排水活動・復旧・復興の実現</b>																
39	排水施設の確実かつ的確な運用に資する施設整備・維持管理	●	●	●	-	●	●	-	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼排水施設の点検、維持管理、▼水門・樋門の自動化、▼排水施設の耐水化、▼水門・樋門の操作演習	
40	排水訓練の継続及び検証、改善	-	●	●	●	-	●	-	●	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼排水ポンプ車配置訓練の実施、▼可搬式ポンプの使用訓練、▼排水計画の見直し	
41	災害廃棄物処理計画の策定・改定	●	●	●	●	●	●	-	-	-	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼災害廃棄物処理計画の策定、▼必要に応じた既存計画の改定	
42	災害復旧のための自衛隊・水防団・報道機関との連携強化に資する取組	●	●	●	●	●	●	●	●	-	-	-	応用	継続的に実施	▼平時からの情報共有・連絡体制の確立、▼大規模災害発生を見据えた防災訓練等の実施	
43	水害対応版BCP作成、企業に対する作成支援	○	●	●	●	○	●	●	-	○	-	-	応用	継続的に実施	▼企業へのNo4の情報も含めた水害リスク、防災行動計画等の情報提供	
44	地域防災計画の被災者支援の検証(避難所生活、仮設・復興住宅及び避難所用地の確保等)	○	●	●	-	○	●	-	-	○	-	-	基礎継続	継続的に実施	▼被災者支援の取組事例の収集・共有、▼支援内容の検討	